

# 2025 年度事業計画

事業期間：2025 年 8 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日

## はじめに

2025 年度の実業計画は、「受託事業・コンサルティング」、「研究・調査技術開発」、「情報発信（研究会・セミナー等、出版、対外協力）」の 3 項目で実施する。

2025 年度事業計画は、下記の項目を重点として取り組むこととする。

- 安定した経営を目指し、「受託事業・コンサルティング」の受注・営業について、「中期行動計画（中期ビジョン）」及び「年次行動計画」を策定し、戦略的に企画営業活動を進めていく。
- 2024 年度に作成した中期ビジョン 2024-2026 を踏まえて、その実現に向けた取り組みを実施していく。
- 上記の企画営業活動の実施にあたっては、これまでの受託事業に加えて、新たな市場（調査研究領域・クライアントの拡大）、テーマの発掘、パートナー・人材 NW の拡張等を行い、「受託事業・コンサルティング」の幅を広げていく。
- プロジェクトマネジメントを実施し、業務成果の品質向上、ワークライフバランスの推進、経営の安定維持を図る。
- 東京事務所移転に伴い、ワンフロアによる新しい働き方の取り組みに対応した、ICT 環境の向上、社内システムの刷新等による業務スタイル、組織運営の効率化・合理化を進めていく。また、これらを達成するための事業経費管理、受注管理、PJ 執行・経費管理、健康管理の 4 つを一体的にマネジメントしていく。
- 公益目的支出計画の完了による税法上の普通法人への移行を契機に、これまでに培ってきた IBS の特徴を活かし、中期ビジョンに示す次のフェーズ（IBS NEXT STAGE）に向けて、社会ニーズに対応した新たな戦略的研究活動と社会変化に対応した新たな組織運営に取り組む。

## 1. 受託事業・コンサルティング

定款に基づき、都市・地域、社会基盤、経済・産業、生活・言語・価値意識の諸分野について、政府・企業等の政策決定、計画策定に関する調査研究を推進する。

具体的には、「年次行動計画」としての当該年度（2025年度）の①行動目標（区分別：継続、提案、新規の3区分別）、②区分別の行動計画に関する内容を、部門（テーマ）別（都市地域・環境部門、交通・社会経済部門の2テーマ）に策定し、運営会議、戦略グループ会議を通じて、計画の策定（Plan）、行動の実施（Do）、目標の達成状況や行動のチェック（Check）、見直し（Act）を行い、3ヶ月毎に年次行動計画を見直していく。

2025年度の受託規模は、21億円以上を目標とする。

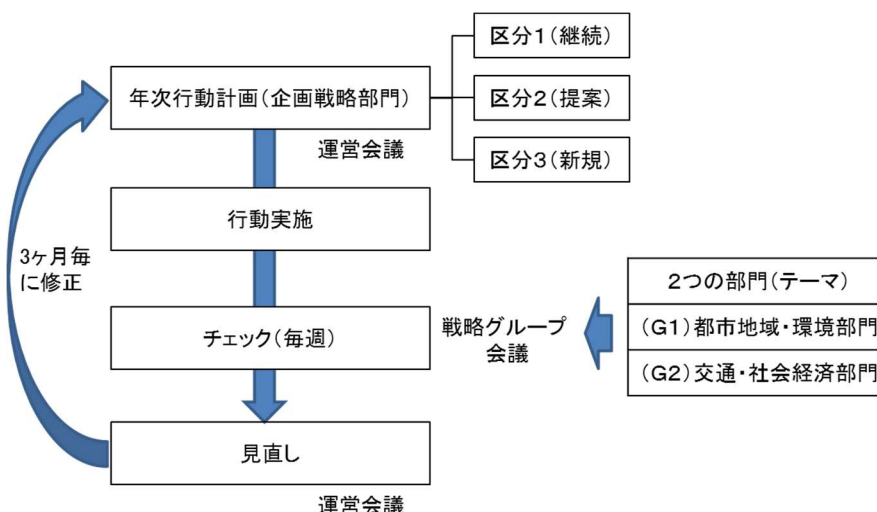


図 PDCA サイクルによる年次行動計画の運用

## 2. 研究・調査技術開発

今日の政策課題や新たなニーズに対応して、IBS の技術ストックの組み合わせや新たな知見を付加した技術開発とそれを支えるシステム整備を、大学・民間との共同研究も視野に入れて推進し、今後の受託事業・コンサルティングに繋げる。

### (1) 組織的 R&D

#### ①都市・交通 2.0 (2024～2026年度)

PT 調査データの新たな活用先を開拓するため、量的側面の評価に主眼が置かれてきたPT調査の活用を、質的側面からの活用に広げ、近年の都市・地域が抱える課題の解決に貢献できる方法論を構築する。特に、従来から活用されてきた移動(トリップ)のデータに加え、アクティビティ・ベースド・シミュレータ (ABS) を活用した活動(目的)に着目した活用領域の拡大を目指す。

#### ②物流 2.0 (2024～2026年度)

物資流動調査以後の物流に係る新たな展開の道筋をつけるため、行政や民間による「物流」の観点を加味したまちづくり等の取り組みを提案する。そのために、物資流動調査で行う様々なデータ分析・解析、物流に関する政策検討の結果・知見を整理し、所内を含めた関係

者等への公知化を図るとともに、次なる業務展開を見据えて、+ $\alpha$ の分析・検討を行うなどの下準備を行う。また、物資流動調査データの新たな活用先を、行政に限定せず民間も対象に開拓し、行政や民間が活用しやすい物資流動調査データの活用方法を検討する。

### ③都市交通ナレッジラボ（2024～2026年度）

国際学会への参加、国際機関との連携活動、業務活動での海外調査の成果を蓄積する仕組みを構築する。あわせて、国などの受託プロジェクトを通して、政令市の比較（政令市の移動に関する比較、メタ分析等）に取り組み、情報発信を通して、社会貢献、社会実装に繋げるラボを運営する。

## （2）その他 R&D

### ①モビリティ・ハブの多様な評価モデルの開発（2024～2026年度）

様々な交通結節点の機能評価及びそのためのデータ取得、解析の手法開発を検討するとともに、バスタプロジェクトの評価を含め、全国各地のモビリティ・ハブ導入に向けた検討を行う。

### ②アーバンパブリックスペース 2.0 研究（2024～2026年度）

アーバンパブリックスペース（UPS）研究会と都市地下空間活用研究会に参画し、事例研究を行うとともに、他社との情報交換、連携強化を図る。また、複数の地下駐車場の連結や物流の地下化など、地下空間を活用した施策の事例収集と、今後の適用可能性についての検討を行う。

## （3）IBS フェローシップ

研究助成制度のフェローシップ 2 テーマを募集し、フェローシップ発表会を 2026 年 7 月に開催予定とする。

## （4）大規模公募研究への企画と応募

外部との連携による大規模 PJ の受注を目指した企画・営業のための公募研究を行っていく。

## 3. 情報発信

新たに自らの公益性を考え、社会貢献に資する研究テーマの設定とより実践的な研究活動を行うとともに、多様化する社会ニーズに対応し、研究会・セミナー等の開催、出版、その他情報収集及び提供、内外の調査研究機関等との連絡及び情報交換等の交流による対外協力をを行い、研究成果の情報発信を行う。

### （1）研究会・セミナー等の開催

#### ①研究発表会・IBS フェローシップ発表会

・2026年7月開催予定

- ②都市交通調査（パーソントリップ調査）に関する講習会
  - ・2025年10月開催予定
- ③MM（モビリティマネジメント）に関する講習会
  - ・2026年7月開催予定
- ④IBS オンラインセミナー
  - ・2026年6月開催予定
- ⑤研修
  - ・インターンシップ（学生）の実施（2025年8月～9月の期間を予定）
  - ・IAESTE等の研修生の受入れ

## （2）出版

- ①出版書籍の販売
  - ・バスがまちを変えていく ～BRTの導入計画作法～ －BRT for human mobility－
  - ・大規模都市開発に伴う交通対策のたて方
    - －大規模開発地区関連交通計画マニュアル（14改訂版）の解説－
  - ・鉄道が創りあげた世界都市・東京 －Transit Oriented Development－
- ②出版企画
  - 近年の我が国における政策ニーズに対応し、以下のテーマについて、これまでのフェローシップの成果を活用して、出版を企画する。
    - ・道路空間の再構築とデザイン（仮）

## （3）その他情報収集及び提供

- ①IBS アニュアルレポート
  - ・2026年7月発行予定
- ②ホームページによる情報発信

## （4）対外協力

- ①活動支援
  - ・世界都市計画の日、都市景観の日、その他国際・国内会議等への協賛、支援
- ②学会活動協力・支援
  - ・主要学会協力・発表・参加
  - ・東アジア交通学会支援
  - ・海外研究機関との協同研究プロジェクトの実施
- ③国内都市ネットワークの形成事業協力
  - ・国際都市計画交流組織（INEX）推進協議会支援

## 4. 財団運営

### 1) 理事会（予定）

#### ① 通常理事会

○第1回（2025年10月）

・2024年事業報告及び決算について

○第2回（2026年7月）

・2026年事業計画及び予算について

### 2) 評議員会（予定）

#### ① 定時評議員会（2025年10月）

・2024年事業報告及び決算について

・役員の改選

#### ② 臨時評議員会（2026年7月）

・2026年事業計画及び予算について

### 3) コンプライアンス

個人情報保護マネジメントシステム（Pマーク）の更新ならびに運用、管理